

2012.JAN

釣り人が創る逸品釣具

ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第38号です。

玄海灘はもしかしたら一年中釣りを楽しめるところかもしれません。それもヒラマサやカンパチや真鯛など釣りをするには格好のターゲットですし、食べても旨いですね。釣りをすればするほど、魚料理に凝ってしまうのは当然なことかもしれません。最近柳刃包丁を嫁さんに内緒で買ったのですが、すぐにバレてしまいお叱りをいただきました。ただ、先の鋭利な柳刃包丁が魚をさばくには必要なときもありますし、キッチンバサミが意外に活躍するところもあります。今度は出刃包丁をもっと重量感があるものにしたいとたくらんでいます。東京の浅草で包丁専門店を覗いて包丁のウンチクをたくさん聞いたときに、その店主は私と逆の価値観で言うのです。包丁は軽い方が使い勝手が良く

て値段も高いと。また鉄製よりもモリブデン合金の方が良いと…。私は切るだけの包丁ではなく、ぶった切る包丁であって欲しいのが出刃の良さだと思います。知人の鳥料理の包丁は、鳥を骨ごとぶった切るようなことをするので毎月30本も研ぎに出すらしいです。

釣り人としての料理は、大きな魚であるほど、大きな背骨をぶった切る感覚は口では説明が難しいかもしれません。

この空間と時間は道具とともに大事にしていきたいと感じております。イチョウの大きなまな板が欲しいなあ～。>^_<



旅暮らし四方山話。(その28)

何のために旅をするのでしょうか。

最近、歳のせいでしょうか。なんのために仕事をするか?ということを富みに考えようになりました。

勉強会などでも経営者にこの質問をよくぶつけるのですが、しっかりした回答をしてくれる人は30~50人に一人くらいのような気がします。それほど皆さん漠然と考えているのでしょう。理念や社是や目標数字ではなくて、「我が人生でこれができたら最高!」と語れることです。

ただ自分のためだけの利益や目的、夢を聞いても楽しくありませんし、「勝手に頑張れば」という気持ちに誰しもなってまいります。やっぱり「世の中のためにああしたい、こうしたい」と言っている人に

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



対しては、「応援するよ。がんばってね。」と言いたくなりますし、本当に手助けしたいです。

若いときの旅は自分たのためだけの旅になります。自分探しという方もおられますから、やはり自分中心です。ただ、以前書きました「深夜特急」の沢木耕太郎が言っているように、若いときの旅は「失われた旅」です。もう二度と経験できないすばらしい旅です。その代わりに歳をとってくると若いときに

は出来なかった旅や仕事ができるようになります。それは廻りの人を巻き込んで微力でも世の中を変えていく力があり、廻りの人たちに影響を与えるようになってきます。

私が好きな冒險家でありプロスキーヤーである三浦雄一郎氏がいます。

彼の本やインタビュー、講演で何度も出てくる言葉は「夢」です。徹底して「夢」を語ります。彼は今年80歳でエベレストに再度挑戦します。(右上につづく)



彼は、37歳でエベレストよりパラシュートをつけてスキーで滑空し、日本の山岳スキー界では散々に叩かれましたが世界中から認められ、70歳、75歳でエベレストを中国チヨモランマ側から到達し、また80歳でチャレンジするという超人です。ただ本当の彼は人生の半ばでは墮落した生活を送っており生活習慣病のデパートのような身体になってしまったこともある人です。そのような状態から彼は這い上がります。彼が言うには「身体を健康にするには食事と運動に気をつければいいのですが、それよりも大事なのは“夢”を持つことです」と言い切っています。

「そうすれば誰だってしっかりと健康に生きていけます。」
彼は「自分の人生の中でこれがやれれば死んでもいい」ということを持つことが大事だと思います。

彼が夢に、応援してしまいたくなります。

なぜか。それは多くの人々に対して夢を与えてくれるからです。「三浦さん！頑張って！俺もやるよ！」と言いたくなります。

まるで昔のNHKプロジェクトXです。あれ良かったです。

「風の中のスバル～」から始まって、5分後にもう失敗して谷底に落とされるシーンがあって、解決口が見つかったかなと思うと、また失敗。徹夜でとりくみまた光が見えています。でまた大失敗。番組が始まって41分して輝いた顔が映り、「ヘッドラ～イト、テールラ～イト～」で涙がこぼれるんです。「あんた、よう頑張ったなあ～。良かったね～。私も明日からがんばるわ～。」と日本国中の人たちが涙して感動したはずです。

米国のPENNリール・BATTLEをリリース

家族からもアメリカかぶれと言われながら、仕事しますが、やっぱり良い物は良い。と思って1月末か2月初旬にあの有名なPENNリールで日本にはまだ入ってきていないBATTLEというリールを発売する予定です。

それもG-tuneというGear-Labオリジナルに改造したリールです。なにが凄いかって、ズバリ「ドラグ性能」です。

日本製のどの製品よりも優れています。大物を細いラインでとることに価値のあるアメリカではドラグ性能は非常に重要な要素です。

実際に使ってみるとシルキーな感触でドラグが常にラインテンションを維持しています。ドラグの良さはラインが走りだすときにしっかりと分かれます。じわ～っと回り出すスプールこそがとても良いドラグです。先月もPEライン3号で13kgのヒラマサを釣り上げています。

アメリカではドラグ専門店も数軒ありますが、日本にはもちろんありません。ラインが細いとルアーやジグがうまく操作できますので釣果差はおのずと出ます。

先日もジギング初心者を連れて、釣りに行ったのですがヒラマサがかかってもドラグ性能に頼ってひたすら巻くだけに専念させて見事に釣り上げました。どうぞお楽しみに。



80歳でエベレストに登るのは勿論ギネス記録ですが、口で言うほど簡単ではありません。彼はクラーク記念国際高等学校の校長です。この学校は全国にあるのですが、普通の学校教育では収まりきれない、いわゆる不登校の生徒を集めた志ある先生方が作った学校です。彼は校長先生としてエベレストに登りその偉業を背景に生徒に懸命に「夢を持ちなさい」と伝え自信と希望を与えています。

今を生きる人、三浦雄一郎。

あまりにもカッコイイ生き方をしている彼に私は最大の尊敬を隠しきれません。

私も世の中のためになることをしたいと思います。

釣りを通して、社会に貢献することを実行するのみだと考えてあります。本気で考えています。

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.Com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(～～)

福山克義(ふくやまかつよし) お気楽D E T C Hこと福山でした

メール NQE50210@nifty.com

